

静岡市立清水入江小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年7月15日(木)

「体験を通して当時の人々の生活を理解しました。」

火起こしや石器の試し切り等の体験を通して、縄文時代や弥生時代の生活の様子を感じ取ることを目的に出前授業を計画してくださいました。実物を見たり触れたりすることで当時の人々の苦労や工夫を実感し、発掘調査の話・土器の分類体験・石器の試し切り体験・火起こし体験の4つの体験を通して、実感を伴って理解することができたようです。どの体験も驚きの連続で、充実した時間になったようです。

埋蔵文化財センターが行なった発掘調査や遺跡の話、発掘後の遺物の保存方法などの話を、画像を見ながら大変興味深く聞くことができ、歴史に対する関心を高めることができました。

◎発掘調査の話



◎石器の試し切り体験

打製石器や磨製石器、黒曜石について話を聞いた後、黒曜石で新聞紙やキャベツなどの野菜くずを試し切りしました。黒曜石の石片が鋭いことに驚き、堅い物も切れることを実感し、鉄器のない時代の暮らしを想像することができました。



◎土器の分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器の違いについての話を聞いた後、実際に出土した完成土器を手に取り、重さや質感、模様などをよく観察し、土器片と比べながら分類していました。微かな色や模様、筋の入り方の違いを話し合いながら分類することができました。



◎火起こし体験

雨の影響が少ない昇降口で行ったので、多少湿気はありましたが、たくさんの班が火を起こすことができました。肩の力を抜いて弾み車をリズムよく回し、回転力が落ちないように頑張っていると火種ができ、火種を火口にのせ息を吹きかけると、煙が目にしみて大変でしたが、息を吹き続けるとついに火が起きました。